

## 中国語表記について

### 中国大陸と台湾・香港・マカオ（澳門）の言語の違いについて

中国には、上海語、広東語、台湾語など、外国語と言ってもいいほど異なる多くの方言がありますが、これは口語の場合であり、書き言葉は基本的に標準語（北京語）を用います。この北京語は現在ほぼ中国全土で通用し、中国大陸では字体は簡略化した「簡体字」を用います。

一方、台湾・香港・マカオでは主に伝統的な「繁体字」を用いており、文体、用語などが「簡体字」と異なります。

### 簡体字・繁体字のコード/フォントについて

「簡体字」の一般的な文字コードは「GB コード」と呼ばれ「SimSun ( シムスン )」「SimHei ( シムヘイ )」フォントが現在使用されており、「繁体字」の一般的な文字コードは「BIG5 コード」と呼ばれ「MingLiU ( ミンリウ )」フォントが現在使用されています。基本的に、Windows2000/XP 以降であればこれらのフォントは問題なく表示されます。

Windows98 を使う場合は、別途中国語フォント・入力システムを組み込む必要があります。Word は早くからユニコード化して対応していますが、Word2000 以降を動作環境としてお勧めします。

Excel では、Windows98 の場合、OS 自体は多言語に対応していないので Excel の使用時に IME ( = 言語入力用変換ソフト ) が切り替えられず、ソフトが多言語に対応している場合のみ IME を切り替えることが出来る仕様になっています。

一方、日本の代表的な中国語ワープロソフトである、Chinese Writer や CWnn ( 楽々中国語 ) は、日本語の文字コードである ShiftJIS に中国語のフォントを割り当てるといったシステムなので、この場合データを開くパソコンにも同じシステムが無いと文字化けしますが、今では GB や BIG5 による入力も可能になっています。